

平成 27 年度 第 1 回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	平成 27 年 6 月 19 日(金) 13 時 30 分から 14 時 15 分まで	
開催場所	大垣市民病院 2 病棟 1 階 会議室	
議題	委員長及び副委員長の選出、前回開催時の課題に対する報告、定例報告事項及び紹介率向上への取組みについて	
出席委員	委員長 大垣市医師会会長 山川 隆司 副委員長 大垣歯科医師会会長 片野 雅文 委員 大垣市医師会理事 近藤 潤一郎 委員 大垣市医師会理事 沼口 諭 委員 揖斐郡医師会会長 小林 収 委員 大垣歯科医師会副会長 萩下 雅仁 委員 大垣薬剤師会会長 松本 正平 委員 大垣市連合婦人会会長 竹中 昌子 委員 弁護士 鈴木 一朗	
公開区分	公開	
傍聴人	なし	
審議概要	<p>1. 委員長及び副委員長の選出について 「地域医療支援病院に関する委員会設置要綱」の第 4 条第 1 項の規定に基づき、委員の互選によって、委員長には大垣市医師会会長の山川 隆司氏、副会長には大垣歯科医師会会長の片野 雅文氏が選出された。</p> <p>2. 前回要望事項について (前回要望事項)地域の医療従事者に対する研修及び市民講座について、関連する事業所に案内を通知していただきたい。 (事務局)今年度も各種の研修や講座を予定しているので、関連する研修を行う時は、案内させていただく。</p> <p>3. 定例報告事項 (1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②紹介医からの診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況について報告した。 ①紹介率……26 年 4 月～27 年 3 月平均:51.3% 27 年 4 月～ 5 月平均:53.9% 逆紹介率…26 年 4 月～27 年 2 月平均:89.1% 27 年 4 月～ 5 月平均:96.1%</p>	

	<p>②紹介診案件数…26年4月～27年3月計:8,333件 27年4月～ 5月計:1,617件</p> <p>紹介検査件数…26年4月～27年3月計:1,298件 27年4月～ 5月計: 216件</p> <p>③開放型病床登録医数…27年5月末:96人(医科87人、歯科9人)、利用率…26年4月～27年3月平均:21.9% 27年4月～ 5月平均:16.9%</p> <p>④救急受診患者数…26年4月～27年3月計:43,935人(月平均3,661人) 27年4月～ 5月計: 7,743人(月平均3,872人)</p> <p>救急車利用件数…26年4月～27年3月計:8,574件(月平均715件) 27年4月～ 5月計:1,524件(月平均762件)</p> <p>救急入院患者数…26年4月～27年3月計:2,660件(月平均221件) 27年4月～ 5月計: 419件(月平均210件)</p> <p>⑤地域医療従事者に対する研修…26年4月～27年3月開催数:56回、参加人数計:4,880人(院外1,109人、院内3,771人) 27年4月～5月開催数:2回、参加人数計:103人(院外25人、院内78人)</p> <p>*病診連携カンファレンス、コメディカルオープン勉強会、西濃がん早期診断研修会、在宅医療研修、西濃救急薬剤師勉強会 等</p> <p>市民対象の講演会等…26年4月～27年3月開催数:29回、参加人数計:1,079人(院外1,005人、院内74人) 27年4月～5月開催数:2回、参加人数計:76人(院外70人、院内6人)</p> <p>*市民公開講座、糖尿病公開講演、成人気管支喘息教室、出前講座等</p> <p>⑥地域連携クリニカルパス登録状況…26年4月～27年3月登録総数814件 27年4月～ 5月登録総数111件</p> <p>27年5月末時点パス開始からの登録総数:4,276件</p> <p>⑦OMNet利用状況…27年5月末時点 利用者数:71人 患者同意者総数:5,838人</p> <p>(2)委員から、上記の報告について次のとおり意見・質問があった。</p> <p>(委員)紹介率が昨年後半から上がっていることに関して、どのように分析・判断されているのか。</p> <p>(事務局)紹介率に関して、昨年半ばまでは中々50%は難しく、色々な対策を考えたが、前半部分からも積極的に開業医の先生方に色々な手立てをしていただいたことが大きな要因の一つと考えている。昨年度の数値としては徐々に向上し、後半からは50%を切ることなく、前半のマイナス分を盛り返して 50%越えにつながった。各開業医の先生方のお力のお蔭と思っている。</p> <p>(委員)特別初診料が値上がりになった影響は、どの程度あるのか。</p> <p>(事務局)特別初診料は平成26年度の10月から改定した。算定期数は26年度4月から9月は月あたり平均で2,805件であった。1,080円から2,160円に改定した以降、</p>
--	---

	<p>10月から3月までの月あたり平均は2,565件で、単純に月あたり240件の算定件数の減となった。割合でいうと約91.4%で、8.6%くらいの特別初診料の算定件数が減少したというような状況となった。</p> <p>(委員)昨年に比べて、開放病床の利用率がとても上がった理由は。利用法が知れ渡ったということか。</p> <p>(事務局)システムの周知が行き渡ってきたと考えている。3月には一時期10床ある病床が満杯になりかけた。これは利用していただく先生のお蔭と感謝している。</p> <p>(委員)利用が10床になった時に、それ以上はお断りされるのか。</p> <p>(事務局)お断りはせず、その時点で一番長く開放病床を利用している方にお願いして一般病床に移っていただき、新しい方を開放病床に受入れる体制で考えている。</p> <p>(委員)救急で来られる方が去年より二百数十名減少しているというのは、何か理由があるのか。特別初診料の影響か。</p> <p>(事務局)救急という点に関しては、特別初診料はそれほど関係していないと思っている。全体の患者さんの数が減少傾向になってきており、連動して救急のほうでも受診の数が減っていると見ている。</p>
	<h4>4. 紹介率向上への取り組みについて</h4> <p>(1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。</p> <p>①患者さんからの電話での診察予約を、西濃地域の医科は1月5日から、西濃地域の歯科は3月2日から開始した。患者さんからの申し込み件数は3月が52件、4月が64件、5月が46件。大垣市の方が6~7割を占めている。予約された診療科は多い順に耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、歯科口腔外科の順であった。</p> <p>②かかりつけ医紹介センターは、昨年の10月に開設した。26年度の相談件数は、月平均15.5件。紹介があった科は多い順に、循環器内科、消化器内科、眼科の順であった。27年度の相談件数は、4月が14件、5月が15件。紹介があった科は多い順に、循環器内科、整形外科、眼科の順であった。</p> <p>(2)委員から、上記の報告について次のとおり意見・質問があった。</p> <p>(委員)現在は目標を達成しているということだが、将来的により高い目標が必要になる場合も有り得るので、長い目で見ての取り組みなどはされているのか。</p> <p>(事務局)現在までは目の前の目標をクリアするのに手いっぱいだったので、まだ長い目で見ての取り組みといったものは考えてないが、やはり28年度からの、紹介状のない方の初診料5,000円から10,000円ということがある。2,160円から5,000円、10,000円ではインパクトも違うし、具体的なことはまだ決定していないが、これから考えていかなければならぬ。</p> <p>また、長期処方を含め、やはり薬のことを根本的に考えていかなければいけない。</p>

	<p>当院は検査をし、投薬の方はなるべく診療所の先生にお願いすると、そういった方向に徐々に持つていけばよいと考えている。</p> <p>(委員)各科の病診連携の取り組みを各科それぞれで独自にやっておられると思うが、それを他の科に周知することにより、他の科もより前向きになるのではないかと思う。それを病院の広報活動などでサポートすると良いと思う。</p> <p>(事務局)確かにそのとおりで、院内の各診療科に病診連携の勉強会の開催状況についてアンケートを行ったところ、多くの科が開催していた。更に充実していくことが重要だと考えている。</p> <p>(委員)地域支援というのは在宅に対する地域支援というのもあると思う。今後、在宅に出していくにあたって、何か考えていることはあるのか。</p> <p>(事務局)専門看護師及び認定看護師と各地域の訪問看護ステーションの看護師との同行訪問の計画を立てており、事前アンケート調査を行う。十月以降にこちらの委員会の先生方に報告した後、実行する予定。</p> <p>(委員)在宅での看護は、褥瘡とがんの看護師か。</p> <p>(事務局)褥瘡とがんです。</p>
次回開催	平成 27 年度第 2 回は 9 月 30 日(水)に開催予定とする。